

山梨県入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	令和7年2月21日 14時00分から16時00分まで 山梨県庁防災新館1階 オープンスクエア		
委 員	委 員 長：武藤 慎一（山梨大学大学院教授） 委 員：猪狩 学（弁護士） 鈴木 優典（山梨学院大学教授）		
審議対象期間	令和6年10月1日～令和6年12月31日		
総契約件数	313件	(備考) 審議件数 ・一般競争入札 6件 ・指名競争入札 1件	
一般競争入札	298件		
(総合評価)	(242件)		
通常指名競争入札	14件		
随意契約	1件		
指名停止状況	1件		
私的独占又は不当な取引制限に係る 情報処理状況	0件		
委員からの意見・ 質問、それに対する 回答等	意見・質問	回答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見 の具申又は勧告の 内容	審議した7件については、適正に処理されている。		

別紙

《抽出事案の審議》

1 〔一般競争入札（事後審査型）〕

〔峡南農務事-24-0025 南部地区 用排水路7号改修工事〕

〈工事概要〉

水路工 延長L=100m、W300×H300～700

〈予定価格〉

予定価格 18,964,000円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

- ・本店所在地 峡南農務事務所管内
 - ・競争入札参加資格 土木工事業 C
 - ・企業の施工実績 5百万円以上の土木一式工事
- ただし、元請として請負い平成21年4月1日から入札参加資格申請締切日までに完成している工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。

〈質疑応答〉

Q)特に難しい工事とも思えないし、管内地域にも28者の応札可能業者がいるとのことだが1者応札になったことについてはどう考えているか。

A)建設業全体で、技術者が不足していることが要因と思われる。また今回、発注金額的にランクCということで、28者はいるがこのランクの会社ごとの技術者は多くないのではないかと推察している。

Q)ありがとうございました。

Q)同じ場所で同様の工事を今後も予定しているのか。要するに何期かに分けて行う工事なのか。

A)この路線が全体で220メートルあるうち、今回施工箇所は100メートルであるため、また来年度、水が使われなくなった時期に発注をする計画である。

Q)先ほどの説明だとまた1者応札となる可能性があるのか。

A)このところの person 費や資材単価の高騰を考えると予定価格があがることを想定しており、例えば2000万円以上となるとBランクも対象となるため応札業者数は増える可能性はあるのではないかと推察している。

Q)先ほどの何期かに分けて発注するというのは、図面の破線部分のことか。

A)そうです。

Q)水利関係なので冬季の工事になるのは仕方無いと思うが、峡南地域全体の水利関係の工事に対して業者が足りないという状況なのか。

A)金額の大きい案件の場合のA、Bランクの業者となればそれなりに技術者数も満足してくると思うが、ランクが下がってくると数が少なくなるため、不調などもみられ、現状としては不足しているのではと推察される。

2 〔一般競争入札（総合評価落札方式）（事後審査型）〕

〔治山林道課-24-0001 滑沢治山施設災害復旧工事（明許）〕

〈工事概要〉

谷止工災害復旧 2基 No.1 谷止工（コンクリート）L=105.0m、H=7.5m、V=634.6m³
No.2 谷止工（コンクリート）L=76.0m、H=6.5m、V=705.0m³

〈予定価格〉

1 6 6, 3 9 3, 7 0 0 円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

- ・本店所在地 富士・東部林務環境事務所管内
- ・競争入札参加資格 土木工事業 A
- ・企業の施工実績 8 千万円以上の河川・砂防工事。ただし、元請として請負い平成 21 年 4 月 1 日から入札参加資格締切日までに完成している工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が 2 0 % 以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う

〈質疑応答〉

Q) 写真を見ると上の方から土石流が発生し流下してきているが、これは比較的多く発生するものなのか。

A) こちらは富士山で春先に雪崩のようなものが起こると言われており、昨年の 4 月の春先の豪雨により雪崩状の土石流がかなり大きな規模で発生した。実際、平成 5 年と平成 1 0 年の既設が今回初めて被災したもので、ごく小規模のものは毎年のように発生しているが、これほど大規模なものは久しく発生していなかった。未曾有の土石流であった。

Q) ここで止めるしかないということか。

A) こちらの既設は治山の谷止めとしては最上流部になるため、こちらで浸食がこれ以上起きないように設置していたところ、最上流部の堰堤が被災した。

Q) 平成 5 年と平成 1 0 年の既設の谷止めというのは土石流があったときに今回のように壊れてしまうことが想定されているものなのか。

A) 土石流の勢いをキャッチするようなポケットは上流にはなく、実際被災したことによって同規模のものがきた場合はまた被災してしまうので、堰堤の幅が 1. 5 メートル幅のものであったものを周辺の転石の状況などを見ながら基準に則り 2 メートルにして、同程度のものがきても再び被災しないような機能を持つものにした。

3 〔一般競争入札（総合評価落札方式）（事前審査）〕

〔治水課-24-0030 峡東浄化センター沈砂池設備更新機械工事（一部債務）〕

〈工事概要〉

No.3 沈砂池流入ゲート 1 門 No.3 沈砂池流出ゲート 1 門 No.3 粗目スクリーン 1 基
No.2 細目スクリーン 1 基 No.3 細目スクリーンかすかき揚げ機 1 台 スクリーンかす搬出機 1 台
No.3 集砂装置 1 池 No.3 揚砂機 1 基 集砂水ポンプ 1 台 圧力水ポンプ 1 台
No.2 ポンプ井攪拌機 1 台 圧力水切替弁 2 台

〈予定価格〉

469,667,000円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

- ・本店所在地 指定なし
- ・競争入札参加資格 山梨県に於ける建設工事（機械器具設置工事）の入札参加資格を有する者で、令和6年4月1日の直前に終了する事業年度を対象とした経営審査の機械器具設置工事に係る総合評定値が1,000点以上の者（特定建設業許可を要する）
- ・企業の施工実績 沈砂池設備工を含む請負金額1億円以上の下水道の機械器具設置工事。ただし、元請として請負い平成21年4月1日から入札参加資格締切日までに完成している工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。
- ・配置予定技術者の資格 機械器具設置の監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を保有する者
- ・配置予定技術者の施工実績 沈砂池設備工を含む請負金額1億円以上の下水道の機械器具設置工事

〈質疑応答〉

Q) 応札業者が1者になったことについて何かしら考えがあるか。

A) あくまで推測ではあるが、今回の工事は下水道処理場内の機械設備ということで非常に専門性を有する工事となっている。そういう部分で一般の土木工事から比べると専門的な技術者の確保等、難しい面があったと考えている。

Q) 公告を出したところで本案件への問い合わせも特になかったのか。

A) そうです。

Q) 施設は31年経過しており、耐用年数としては15年ということだが、今まで不調などがあったわけではなく今回事業として出したのは初めてか。

A) 初めてです。

Q) 修繕をしながら31年はもったという理解でよろしいか。

A) そうです。

Q) なかなかやはり難しい案件なのか。1者応札ということは。

Q) 落札者は修繕にも関わっていた業者か。

A) そうです。

Q) わかりました。

4 〔一般競争入札（総合評価落札方式）（事後審査型）〕

〔中北建設事-24-0035 （一）武田八幡神社線武田橋補修工事（一部債務）（余フ）〕

〈工事概要〉

橋梁保全工事(A1～P2) 橋面防水工A=466m²、伸縮装置取替工L=69.0m、
支承補修工N=12基、ひび割れ注入一式

〈予定価格〉

60,775,000円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

- ・本店所在地 中北建設事務所管内
 - ・競争入札参加資格 土木工事業 A又はB
 - ・企業の施工実績 1千8百万円以上の道路工事
- ただし、元請として請負い平成21年4月1日から入札参加資格締切日までに完成している工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。

〈質疑応答〉

- Q) 今回の工事は特殊な工法が含まれているとのことだが今回の落札業者は実績的には問題がないのか。
- A) この業者は参加資格上Aランクの業者であり、橋梁補修の実績も多々あるので問題ないと考えている。
- Q) 評価調書上も、工事成績や優良工事表彰も加点となっており。そのような部分でも判断できるのか。
- A) この業者については優良工事の表彰も何回か受けており、問題ないと考えている。
- Q) 今回は第一期の工事とのことだが、全部で何期の工事になるのか。
- A) 予算の関係もあるが、11月から5月までの渇水期中に川の中で行う工事なので、今回と同程度の工事を続けていく形になる。今回A1橋台からP2橋脚まで2スパンずつくらいやっていくこととなるため、5～6期で考えている。
- Q) わかりましたありがとうございます。
- Q) 施工実績がAランクということか。Aランクとはどのようなものか。
- A) 経営事項審査結果等が反映されたものである。
- Q) 今回応札可能業者が99者とのことだが、今回の特殊な工事を実際に受けられる業者はどれくらいいるのか。
- A) A、Bランク全てをひっくるめた中北管内の業者99者が全員できるような形ではある。
- Q) このあと何期も続いてく中で、今回1者入札、また次も同じ落札業者その次も同じ業者が落札というところが既定路線となると問題だと思う。そんなことになりかねない状況なのか。
- A) 推測にはなるが今回の落札業者ばかりにとらせるということではないので、他の業者にも均等に権利はあり、落札するのでないかと考えているが。
- Q) 橋梁の補修が何期かに渡り、発注されることはよくあると思うが、期ごとに別の業者が落札することはあるのか。
- A) ありうると思う。
- Q) ありうるというか、過去に実績というかそのような経験はあるか。
- A) 全部を把握しているわけではないが、委員のおっしゃるとおり同じ業者が落札する場合もあるが、少なからず別の業者が落札している場合もある。
- Q) おおまかな割合は把握していないか。
- A) そこまでのデータは手元にない。
- Q) ただ少なからず他の業者が期ごとに落札する場合もあるということか。
- A) はい。
- Q) わかりました。

5 〔一般競争入札（総合評価落札方式）（事後審査型）〕

〔新環状建設-24-0048 国道140号（新山梨環状道路東部区間2期）道路工事（明許）（余フ）〕

〈工事概要〉

道路改良工事 擁壁 V=3.6m³ プレキャストボックス L=38.9m
自由勾配側溝 L=15.5m 集水桝 N=5箇所 仮設工 土留・仮締切工L=4.5m

〈予定価格〉

75,548,000円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

- ・本店所在地 峡東建設事務所管内
- ・競争入札参加資格 土木工事業 A又はB（特定建設業許可を要する）
- ・企業の施工実績 2千2百万円以上の道路工事。ただし、元請として請負い平成21年4月1日から入札参加資格締切日までに完成している工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。
- ・配置予定技術者の資格 監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を保有する一級土木施工管理技士又は同等以上

〈質疑応答〉

Q)新環状道路東部区間の工事については、何件も入札案件があるかと思うが、今回落札した業者が落札した案件で、他にも1者応札のものがあるか。また、複数入札で競争となっているものもあれば教えてほしい。

A)今回落札した業者が応札した案件はすべて1者応札であった。3年間はそのような結果であった。

Q)何か理由があるのか。今回は会社から施工場所がかなり近いので応札していたのはよくわかるのだが。

A)推察するにあたり、どこの建設業者も人手不足なので本当に落札したい案件に絞って応札しているという状況はあると思う。

Q)当然今回の落札業者以外にも落札していると思うが、東部区間のうちどれくらいを芦沢組土木が落札しているか。

A)笛吹市内にAランク業者が6社ほどあるがそこがそれぞれ落札し、1/5～1/6とっている感じだと思う。

Q)地域で満遍なく落札している感じですね。わかりました。

Q)今回の落札業者以外の業者が落札している案件も1者応札が多いのか。

A)そうです。

Q)わかりました。

6 〔一般競争入札（事後審査型）〕

〔発電制御所-24-0007 発電総合制御所事務室改修工事〕

〈工事概要〉

○電灯、コンセント設備改修 一式 ・非常用照明（LED）新設 31個 ・LED照明移設 9台
・LED照明撤去 3台 ・コンセント設備新設 42個
○弱电設備改修 一式 ・差動式スポット型熱感知器移設 2基 ・場内放送用スピーカー移設 2基
・監視モニター移設 1台 ・電話交換機改造 1台 ・電話設備増設 30台

○間仕切り壁追加 一式 ・間仕切り壁追加 3面 ・ドア新設 3カ所

〈予定価格〉

18,953,000円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

- ・本店所在地 県内
- ・競争入札参加資格 電気工事業 A又はB
- ・企業の施工実績 請負金額5百万円以上の電気工事。ただし、元請として請負い平成21年4月1日以降に完成引き渡し済みの工事实績。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。

〈質疑応答〉

- Q) 早川水系の発電管理事務所が移転するとのことだが、移転元は廃止ということか。
- A) 発電所の中に管理事務所があるため、振動や音の問題も移転する理由のひとつである。建物としては発電所であるため廃止ということではないが、管理事務所の部分は廃止する。
- Q) 参加業者3者で2者が辞退、応札1者で落札率100パーセントという状況で、辞退理由は他の工事に技術者を配置したためとのことであった。特に難しい工事とも思えないが、この予定価格では業者にとっては魅力のない工事なのか。
- A) 適正な単価で積算しているが、建設資材の高騰や、人手不足もあり魅力が少し無いのかなと思う。71者いてこれだけ応札者が少ないとそう推察される。
- Q) 場所も遠いわけではないし、工事の難易度が高いわけでもないと考えたとやはり資材の高騰が案件に対して入札をためらう理由になっているという全体としての状況がある。
- A) 新聞記事によれば、他の工事現場でも建設資材が不足し、工事の進捗が遅れているとあったので一般的にそのようなことが多いのかもしれない。今回は事務所としても71者応札可能業者があったのでもう少し応札があるかと期待していた。
- Q) わかりました。ありがとうございました。

7 〔通常指名競争入札〕

〔富東建設事 24-0371 国道413号 無名2号橋耐震補強工事〕

〈工事概要〉

橋梁耐震補強工事 N=1 橋 縁端拡幅工 N=2 箇所

〈予定価格〉

7,667,000円（消費税含む）

〈指名業者の選定理由〉

土木一式工事 Bの資格を有し、業者状態が正常で納税状況が完納の業者は県内で281者である。

1. 281者のうち本店所在地が富士・東部建設事務所吉田支所管内である15者を選定
2. この15者のうち地理的条件を有する工事現場に近い6者を選定
3. 最後に工事等の経歴から当該工事を施工する能力のある5者を選定した。

〈質疑応答〉

Q) 5 者中 3 者が辞退した理由を何か把握しているか、していなければ推測でもよいので教えてほしい。

A) 指名競争入札なので辞退理由を求める制度にはなっていないため想定である。一つ目は耐震補強工事なので難易度が高く、技術力を求められること、二つ目は技術者が不足していること。請負金額が小さい案件になるため、1 級、2 級の土木施工管理技士の資格を求めているが、その配置が厳しかったのではないかと。また、工種の特徴から、下請けの部分の工種が細かいことや専門業者を使わなければならなかったり、交通整理員を配置しなければならなかったり、支払う金額が多く、比較的儲からない仕事であるところも原因ではないかと。

Q) 国道 4 1 3 号は地域にとっても災害発生時にも非常に重要な路線であるが、現状耐震工事が終わっていない橋梁は今回のような小さな橋梁も含めてどれくらいあるのか。

A) 今回の耐震補強は緊急輸送道路であったが、県の目標としては R 9 までに全てを終えるということで進めている。富士東部建設事務所吉田支所管内は比較的進んでおり、あと 7 橋であり、これについても来年度完了予定である。

Q) わかりましたありがとうございます。

《全体を通しての意見》

・なし

以上